

スポーツ解剖学概論

科目ナンバリング SPS-202
選択 2単位

加藤 基

1. 授業の概要(ねらい)

スポーツ指導者としてアスレティックトレーナーとして活動する場合には、身体の構造と機能について十分に理解しておくことが求められる。

本授業では、スポーツ指導者に必要な運動器の基本的な構造・機能を概説する。

2. 授業の到達目標

主要な骨・関節・筋の名称と構造が説明できる

3. 成績評価の方法および基準

成績は授業後にLMS上で行う小テスト100点および定期試験(筆記)100点により評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

『最新カラーリングブック 筋骨格系の解剖学』(産調出版)

『骨単一ギリシャ語・ラテン語(語源から覚える解剖学英単語集(骨編))』(エヌ・ティー・エス)

『肉単一ギリシャ語・ラテン語(語源から覚える解剖学英単語集(筋肉編))』(エヌ・ティー・エス)

5. 準備学修の内容

主要な骨の名称、主要な筋の名称と機能は確実に覚えてほしい。

6. その他履修上の注意事項

暗記が多くなるが、覚えなくては始まらないと思って取り組んでほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
機能解剖学の基本的な用語
- 【第2回】 人体の構造
・組織と器官
・主な臓器
- 【第3回】 骨、関節の構造と機能
- 【第4回】 筋、腱の構造と機能
- 【第5回】 神経系の構造と機能
- 【第6回】 主な骨と筋の名称と機能
筋について詳しく学ぶ意義
- 【第7回】 足関節・下腿の構造と動き
- 【第8回】 膝関節の構造と動き
- 【第9回】 大腿部・股関節の構造と動き
- 【第10回】 体幹(全体)の構造と動き
- 【第11回】 体幹(各椎骨レベル)の構造と動き
- 【第12回】 肩の構造と動き
- 【第13回】 肘関節・前腕の構造と動き
- 【第14回】 手・前腕の構造と動き
- 【第15回】 まとめとテスト